

学 年		1 音読	
組			
名 前			

○声に出して読んでみましょう。

五十音
ごじゅうおん

北原白秋
きたはら はくしゅう

あめんぼ 赤いな ア イ ウ エ オ

うきもに 小えびも およいでる

かきの木 くりの木 カ キ ク ケ コ

きつつき こつつ かれけやき

ささげに すをかけ サ シ ス セ ソ

その魚 うお あさせで さしました

立ちましょ ラッパで タ チ ツ テ ト

トテトテ タッタと とび立った

なめくじ のろのろ ナ ニ ヌ ネ ノ

なんどに ぬめって なにねばる

はとぽっぽ ほろほろ ハ ヒ フ ヘ ホ

ひなたの おへやにゃ ふえをふく

まいまい ねじまき マ ミ ム メ モ

うめのみ おちても 見もしまい

やきぐり ゆでぐり ヤ イ ュ エ ヨ

山^{やまだ}田に ひのつく よいの家

らいちようはさむかる ラ リ ル レ ロ

れんげが さいたら るりのとり

わいわい わっしよい ワ ^(キ)イ ^(エ)ウ ^(ヲ)エ オ

うえきや ^(ミ)いどがえ ^(ホ)おまつりだ

1 音読

学 年		組		名 前	
-----	--	---	--	-----	--

○声に出して読んでみましょう。

待ちぼうけ^ま

きたはらはくしゆう
北原白秋

まちぼうけ まちぼうけ

ある日 せっせと のらかせぎ

そこへ うさぎが とんで出て

ころり ころげた 木のねっこ

まちぼうけ まちぼうけ

しめた これから ねてまとか

まてば えものは かけてくる

うさぎ ぶつかれ 木のねっこ

まちぼうけ まちぼうけ

きのう くわとり はたしごと

きょうは ほおづえ ひなたぼこ

うまい きりかぶ 木のねっこ

まちぼうけ まちぼうけ

今日は 今日で まちぼうけ

明日^{あす}は 明日^{あす}はで 森のそと

うさぎ まちまち 木のねっこ

まちぼうけ まちぼうけ

もとは すずしい きびばたけ

いまは あれ野の ほうき草

さむい 北風 木のねっこ

2 漢字を読む 1 ①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① すいせんの葉っぱ
「」

② 起きなさい
「」

③ 風の速さ
「」

④ 一面に広がる
「」

⑤ 大きく息をすう
「」

⑥ 向こうの空
「」

⑦ 今度はあそこ
「」

⑧ 緑色のリボン
「」

⑨ 感心して手をたたく
「」

⑩ ちょろっと動く
「」

⑪ 豆つぶみたいな虫
「」

⑫ 場面の様子
「」

⑬ 人物の気持ち
「」

⑭ 文章を読む
「」

⑮ 言葉の力
「」

⑯ 童話の本
「」

⑰ 習いごとをがんばる
「」

⑱ 発見する
「」

⑲ すきな運動
「」

⑳ 水泳がとくい
「」

2 漢字を読む 1 ②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 練習する

⑪ 緑茶を飲む

② 幸運を呼ぶ

⑫ きびんな動作

③ 運命にしたがう

⑬ 買い物に出かける

④ じてんの使い方

⑭ 習字を書く

⑤ 漢字を書く

⑮ にもつを運ぶ

⑥ 意味をしらべる

⑯ 計画を練る

⑦ 次の時間

⑰ 生命そんちよう

⑧ 医者と話をする

⑱ 幸せの青い鳥

⑨ 時速五十キロ

⑲ 意見をのべる

⑩ 方向を変える

⑳ 人気者

2 漢字を書く 1 ①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましょう。

① すいせんのはっぱ 「」

② おきなさい 「」

③ 風のはやさ 「」

④ いちめんに広がる 「」

⑤ 大きくいきをすう 「」

⑥ おここの空 「」

⑦ こんどはあそこ 「」

⑧ みどりいろのリボン 「」

⑨ かんしんして手をたたく 「」

⑩ ちよろつとうごく 「」

⑪ まめつぶみたいな虫 「」

⑫ 場面のようす 「」

⑬ じんぶつの気もち 「」

⑭ ぶんしょうを読む 「」

⑮ ことばの力 「」

⑯ どうわの本 「」

⑰ ならいごとをがんばる 「」

⑱ はっけんする 「」

⑲ すきなうんどう 「」

⑳ すいえいがとくい 「」

2 漢字を書く1②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

① れんしゅうする 「」

② こううんを呼ぶ 「」

③ うんめいにしたがう 「」

④ じてんのつかい方 「」

⑤ かんじを書く 「」

⑥ いみをしらべる 「」

⑦ つぎの時間 「」

⑧ いしゃと話をする 「」

⑨ じそく五十キロ 「」

⑩ ほうこうを変える 「」

⑪ りよくちやを飲む 「」

⑫ きびんなどうさ 「」

⑬ 買いものに出かける 「」

⑭ しゅうじを書く 「」

⑮ にもつをはこぶ 「」

⑯ 計画をねる 「」

⑰ せいめいそんちよう 「」

⑱ しあわせの青い鳥 「」

⑲ いけんをのべる 「」

⑳ にんきもの 「」

3 国語じてんの使い方①

学 年	
組	
名 前	

① 国語じてんで、前に出ている言葉の方に、○をつけましょう。

① () あさ () ひる

② () あめ () あさ

③ () つめ () こめ

④ () あさがお

() あさひ

⑤ () がっこう

() かっこう

② 国語じてんに出ている順
番を書きましょう。

① () すな

() いし

() いわ

② () かめ

() かわ

() かい

③ () ねんぎ

() ねこやなぎ

() ね

④ () しゃしん

() しゃかい

() しょうかい

③ 国語じてんに出ている形
になおしましょう。

(例) 手紙を書いた。

① ジュースをのんだ。 「書く」

「」

② 道にまよってしまった。

「」

③ 荷物にもっが重おもくて、とても
持てない。

「」

④ 海はとても遠かった。

「」

⑤ その日の朝は、とても
すずしかった。

「」

3 国語じてんの使い方②

学 年	
組	
名 前	

① 「」のことばを国語じてんで調べ、の文と同じみで使われている文に○をつけましょう。

① 「たずねる」

交番で駅えきの場所ばしょをたずねる。

（ ）友だちの家をたずねる。

（ ）けっせきの理由りゆうを電話でたずねる。

② 「あやまる」

あやまって、ガラスをわってしまった。

（ ）友だちにあやまる。

（ ）地図のかき方をあやまる。

③ 「やぶる」

しあいで強いてきをやぶる。

（ ）しょうじをやぶる。

（ ）強ごう校をやぶる。

④ 「のる」

車にのってでかける。

（ ）新聞に記事きじがのる。

（ ）馬にのるのが楽しみだ。

② 正しい漢字に○をつけましょう。

① 戸をあける（開ける・明ける）。

② 本をかえす（帰す・返す）。

③ 顔があからむ（赤らむ・明らむ）。

4 漢字を読む 2 ①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 身 〃 〃 をかくす

② 役 〃 〃 立つ

③ 表 〃 〃 の色

④ すきな場 〃 〃 所

⑤ 調 〃 〃 べる

⑥ 落 〃 〃 ち葉

⑦ 元 〃 〃 気に育つ

⑧ 決 〃 〃 まった時間

⑨ 本 〃 〃 の題名

⑩ 整 〃 〃 理する

⑪ 全 〃 〃 体の内よう

⑫ え 〃 〃 らんだ理由

⑬ 学 〃 〃 級新聞

⑭ 記 〃 〃 事を書く

⑮ 係 〃 〃 のしごと

⑯ 車 〃 〃 に乗る

⑰ 皿 〃 〃 あらいを手伝う

⑱ 石 〃 〃 油

⑲ 学 〃 〃 校の屋上

⑳ 校 〃 〃 庭であそぶ

4 漢字を読む 2 ②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 山や 畑「」

② 道 路「」の そ ば

③ 駅「」の 近 く

④ 病 院「」に 行 く

⑤ 高 い「」鉄 道「」

⑥ 体 育 館「」が ある

⑦ ゆ う び ん 局「」

⑧ 小 さ い 商 店「」

⑨ 深 い 海「」

⑩ 安 全 な プール「」

⑪ 和 室「」に 入 る

⑫ 花 の 写 真「」

⑬ 暑 い 日「」

⑭ 昭 和 生 ま れ「」

⑮ 起 立「」の 声 が け

⑯ 車 の 速 度「」

⑰ お い し い 緑 茶「」

⑱ 手 を 動 か す「」

⑲ 買 い も の を す る「」

⑳ 習 字 の ふ で「」

4 漢字を書く2 ①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

① みをかくす

② やくだつ

③ おもての色

④ すきなばしよ

⑤ しらべる

⑥ おち葉

⑦ 元気にそだつ

⑧ きまった時間

⑨ 本のだいいい

⑩ せいりする

⑪ ぜんたいの内よう

⑫ えらんだりゆう

⑬ がっきゅうしんぶん

⑭ きじを書く

⑮ かかりのしごと

⑯ 車にのる

⑰ さらあらいを手伝う

⑱ せきゆ

⑲ 学校のおくじよう

⑳ こうていであそぶ

4 漢字を書く2②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

① 山やはたけ「」

② どうろのそば「」

③ えきの近く「」

④ びょういんに行く「」

⑤ 高いてつぼう「」

⑥ たいいくかんがある「」

⑦ ゆうびんきょく「」

⑧ 小さいしょうてん「」

⑨ ふかい海「」

⑩ あんぜんなプール「」

⑪ わしつに入る「」

⑫ 花のしゃしん「」

⑬ あついい日「」

⑭ しょうわ生まれ「」

⑮ きりつの声がけ「」

⑯ 車のそくど「」

⑰ おいしいりよくちや「」

⑱ 手をうごかす「」

⑲ かいものをする「」

⑳ しゅうじのふで「」

5 形のかわる言葉①

学 年	
組	
名 前	

① 「 」の言葉を、文に合う形に直した言い方を○でかこみましよう。

① 「運ぶ」
このにもつを「運ぶ・運んだら・運べば」、ひと休みましよう。

② 「つる」
きのう海で大きな魚を「つる・つった・つります」。

③ 「終わる」
算数の宿題しゅくだいが「終わる・終わったら・終わった」、次は国語の勉強べんきょうをしよう。

④ 「習う」
ぼくは、今、習字を「習う・習った・習えば・習っている」。

⑤ 「食べる」
ぼくが、きのう行った公園では、ハトがおいしそうにえさを「食べている・食べれば・食べたなら・食べていた」。

⑥ 「泳ぐ」
明日は、プールにいった「泳いだ・泳いだら・泳ごう」。

⑦ 「ふる」
明日はたぶん雨が「ふった・ふるだろう」

5 形のかわる言葉②

学 年	
組	
名 前	

① 動作を表す言葉は使い方によって形が変わります。
「読む」はどうかわるでしょう。

① この本を「 」。

② この本を「 」ないでください。

③ この本をぜひ「 」たい。

④ この本はこれまでに「 」だことがある。

⑤ この本を「 」子どもたちは、三年生が多い。

⑥ この本を「 」ば、たのしい気持ちになる。

⑦ この本を「 」う。

⑧ この本をかならず「 」め。

5 形のかわる言葉①

学 年	
組	
名 前	

① 「 」の中で、文に合う言葉を○でかこみましょう。
朝になると、「さわやかだ・さわやかな」風がふくようになった。

② 朝「早い・早く」起きて、さんぽをすることにしました。

③ 早朝の学校は、とても「しずかな・しずかだ」。

④ 秋になり、山々が「美しく・美しい」色にかわってきた。

⑤ 学校にあるピアノの音色は、とても「きれいな・きれいだ」。

⑥ ノートを「ていねいに・ていねいだ」使いました。

⑦ 車の「まぶしく・まぶしい」光。

⑧ 「かわいい・かわいく」子犬をもらった。

⑨ 「青い・青く」空に、「小さい・小さく」雲がかんでいる。

⑩ 「かすかな・かすかだ」音にも、びっくりしてしまう。

5 形のかわる言葉②

学 年	
組	
名 前	

① 「 」の言葉を文に合う言い方になおしましょう。

① 「きれいだ」

夏になると 「 」花がたくさんさく。

② 「せまい」

山道を進むにつれ、道がどんどん 「 」
なってきた。

③ 「暗い」

冬になると、 「 」なるのが早い。

④ 「くわしい」

この言葉の意味を 「 」調べた。

⑤ 「青白い」

ぐあいが悪い^{わる}のか、顔色が 「 」見える。

⑥ 「悲しい」

本を読んだら、 「 」なって涙^{なみだ}が出てきた。

⑦ 「しずかだ」

みんな図書室で 「 」本を読んでいる。

⑧ 「まぶしい」

夏の太陽が、 「 」光っている。

6 漢字を読む 3 ①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 小さな旅 館

② お客 さん

③ おぜんを 持 っ

④ 階 だんを 上る

⑤ 重 い ふうろ

⑥ 去 年 の 秋

⑦ 仕 事 から 帰る

⑧ 両 手 で おす

⑨ 九 州 旅 行

⑩ 軽 い 風 船

⑪ しつ 問 を する

⑫ 見 通 し が 悪 い

⑬ 番 号 を つ ける

⑭ 生 死 に か か わる

⑮ い く つ か の 部 分

⑯ 板 を し く

⑰ 家 の 柱

⑱ 詩 を 書 く

⑲ 分 と 秒

⑳ 筆 を 持 っ

6 漢字を読む 3 ②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 笛 を ふ く 「」

② 港 が 近 い 「」

③ 旅 立 ち の 日 「」

④ 持 病 が あ る 「」

⑤ 手 を 重 ね る 「」

⑥ 体 重 を は か る 「」

⑦ 過 去 と 未 来 「」

⑧ 東 京 を 去 る 「」

⑨ 王 に 仕 え る 「」

⑩ 軽 自 動 車 「」

⑪ 問 い に 答 え る 「」

⑫ 悪 人 ら し い 「」

⑬ 小 鳥 が 死 ぬ 「」

⑭ 黒 板 に 書 く 「」

⑮ 山 の 上 の 電 柱 「」

⑯ 筆 記 用 具 「」

⑰ 汽 笛 が 聞 こ え る 「」

⑱ 船 の 出 港 「」

⑲ 今 夜 の 料 理 「」

⑳ 良 い 行 動 「」

6 漢字を書く3 ①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

① 小
さ
な
り
よ
か
ん
「」

② お
き
ゃ
く
さ
ん
「」

③ お
ぜ
ん
を
も
つ
「」

④ か
い
だ
ん
を
上
る
「」

⑤ お
も
い
ふ
く
ろ
「」

⑥ き
よ
ね
ん
の
秋
「」

⑦ し
ご
と
か
ら
帰
る
「」

⑧ り
よ
う
て
で
お
す
「」

⑨ き
ゆ
う
し
ゆ
う
旅
行
「」

⑩ か
る
い
風
船
「」

⑪ し
つ
も
ん
を
す
る
「」

⑫ 見
通
し
が
わ
る
い
「」

⑬ ば
ん
ご
う
を
つ
け
る
「」

⑭ せ
い
し
に
か
か
わ
る
「」

⑮ い
く
つ
か
の
ぶ
ぶ
ん
「」

⑯ い
た
を
し
く
「」

⑰ 家
の
は
し
ら
「」

⑱ し
を
書
く
「」

⑲ 分
と
び
よ
う
「」

⑳ ふ
で
を
持
つ
「」

6 漢字を書く3②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

① ふえをふく
「」

② みなどが近い
「」

③ たび立ちの日
「」

④ じびようがある
「」

⑤ 手をかさねる
「」

⑥ たいじゅうをはかる
「」

⑦ かこと未来
「」

⑧ 東京をさる
「」

⑨ 王につかえる
「」

⑩ けいじどうしゃ
「」

⑪ といに答える
「」

⑫ あくにんらしい
「」

⑬ 小鳥がしぬ
「」

⑭ こくばんに書く
「」

⑮ 山の上のでんちゅう
「」

⑯ ひっきようぐ
「」

⑰ きてきが聞こえる
「」

⑱ 船のしゅっこう
「」

⑲ こんやの料理
「」

⑳ 良いこうどう
「」

7 漢字の組み立てと意味①

学 年
組
名 前

①  の中の漢字を「へん」
 や「つくり」ごとに  に書きましょう。

① 禾（のぎへん）

【三つ】

② シ（さんずい）

【三つ】

③ 糸（いとへん）

【三つ】

④ 言（ごんべん）

【三つ】

⑤ イ（にんべん）

【三つ】

⑥ 木（きへん）

【三つ】

⑦ 日（ひへん）

【二つ】

⑧ イ（ぎょうにんべん）

【二つ】

⑨ 土（つちへん）

【二つ】

⑩ 文（のぶん）

【三つ】

⑪ カ（ちから）

【二つ】

⑫ 阝（おおざと）

【二つ】

⑬ 頁（おおがい）

【三つ】

秒 植 題
 話 詩 放
 秋 橋 仕
 教 顔 和
 場 時 漢
 地 終 湯
 頭 曜 練
 部 緑 調
 数 役 使
 助 動 係
 都 待 湖
 横

7 漢字の組み立てと意味②

学 年	
組	
名 前	

1 次の部首の漢字を書きましよう。

① きへん(れい)「柱」

草の「」 お客「」

② にんべん(れい)「仕」

「」む 「」わる

③ ごんべん(れい)「詩」

「」べる 本を「」む

④ いとへん(れい)「細」

三「」 「」色

⑤ さんずい(れい)「海」

白「」 「」ぐ

「」れる 「」

⑥ のぎへん(れい)「秋」

一「」 平「」

⑦ てへん(れい)「指」

「」げる 「」う

⑧ おおがい(れい)「頭」

「」

⑨ おおざと(れい)「都」

バレー「」

⑩ ちから(れい)「動」

「」ける

⑪ のぶん(れい)「教」

「」字 手を「」す

7 漢字の組み立てと意味③

学 年	
組	
名 前	

1 □ の漢字を次のぶぶんをもつなかに分けましょう。

① 「くさかんむり」

【三つ】

② 「うかんむり」

【三つ】

③ 「たけかんむり」

【三つ】

④ 「しんにょう」

【三つ】

⑤ 「まだれ」

【三つ】

⑥ 「くにがまえ」

【三つ】

⑦ 「もんがまえ」

【三つ】

⑧ 「あめかんむり」

【三つ】

⑨ 「こころ」

【三つ】

⑩ 「ひとあし」

【三つ】

見	元	広	感	落
雪	想	度	電	光
間	実	開	第	意
国	筆	庫	速	安
家	薬	葉	門	凶
雲	通	園	運	算

7 漢字の組み立てと意味④

学 年	
組	
名 前	

1 「 ー 」に次の部首の漢字を書きましょう。

① くさかんむり(れい「草」)

「 ー 」しい お「 ー 」

② うかんむり(れい「家」)

「 ー 」い

しまりを「 ー 」る

「 ー 」める

③ たけかんむり(れい「箱」)

「 ー 」え

④ しんによう(れい「道」)

見「 ー 」り

「 ー 」いかける

「 ー 」い

⑤ まだれ(れい「店」)

「 ー 」

⑥ くにかまえ(れい「国」)

公「 ー 」

⑦ もんがまえ(れい「間」)

みせが「 ー 」く

⑧ あめかんむり(れい「雲」)

「 ー 」車

⑨ こころ(れい「思」)

「 ー 」人

ため「 ー 」に

⑩ ひとあし(れい「先」)

「 ー 」気

8 漢字を読む4

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 歯 の え い 生

② 実 は う そ で す

③ お 宮 ま い り

④ 宿 題 を す ま す

⑤ 目 と 鼻

⑥ 血 が 出 る

⑦ 交 流 会 に 出 る

⑧ メ モ を 集 め る

⑨ 勉 強 が す き

⑩ 青 色 の 服

⑪ 服 を 着 る

⑫ 波 に 乗 る

⑬ 手 を 打 つ

⑭ い つ も 遊 ぶ

⑮ 父 は 歯 科 医 で す

⑯ 木 の 実

⑰ 王 宮 に 入 る

⑱ 今日 の 宿

⑲ 足 の 出 血

⑳ 川 に 流 れ る

8 漢字を書く4

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① はのえい生「」

② じつはうそです「」

③ おみやまいり「」

④ しゆくだいをすます「」

⑤ 目とはな「」

⑥ ちが出る「」

⑦ こうりゆうかい「」

⑧ メモをあつめる「」

⑨ べんきょうがすき「」

⑩ 青色のふく「」

⑪ 服をきる「」

⑫ なみに乗る「」

⑬ 手をうつ「」

⑭ いつもあそぶ「」

⑮ 父はしかいです「」

⑯ 木のみ「」

⑰ おうきゅうに入る「」

⑱ 今日のやど「」

⑲ 足のしゅっけつ「」

⑳ 川にながれる「」

9 話 す ・ 聞 く ①

学 年	
組	
名 前	

① 「」に合う言葉を か
 らえらんで、二つの文をつ
 ないで話してみよう。

例

アかぜをひいてしまっ
 た。
 「だから」
 イ学校を休むことにし
 た。

① やくそくの時こくになっ
 た。

「
 友達はまだ来ない。」

② 駐^{ちゅう}車場まで歩いて一時間
 かった。

「
 そのあと三十分歩いた。」

③ 図書館まで歩いて行きま
 すか。

「
 バスで行きますか。」

④ 雨がふりそうだ。
 「
 かさをもって行きなさい。」

それとも・だから
 でも・さらに

② 「」のことを伝えるには
 とくにどの言葉や文をし
 っかり話すとよいですか。
 その言葉や文に を引
 きましよう。

れい

「「いっしょに行った人がだ
 れか」をぜひ伝えたい」
 ○きのう、ぼくは母と
 いっしょに海へ行
 きました。

① 「「本を買った曜日」をぜひ伝え
 たい」

○ この本を買ったのは、
 火曜日です。

② 「「買ったもの」をぜひ伝えたい」
 ○ 私が買ったのは、この
 本とじてんです。

③ 「「歩いている様子」をぜひ伝え
 たい」

○ 赤ちゃんがよちよちと
 歩いていました。

④ 「「たくさんの中でとくべつなも
 の」をぜひ伝えたい」
 ぼくは、これが一番か
 わいいと思いました。

9 話 す ・ 聞 く ②

学 年	
組	
名 前	

① 次の文は、しげるさんの朝のスピーチです。話し方がまちがっている時は、正しい言い方を、正しい場合は、○を「 」に書きましょう。

「かいとうれい」

きのう、おかあさんと、算数のノートがなくなったので、
「 」 「 」
買いに来ました。 やっと見つからなかったので、

店の人に

「算数のノートは、ありませんか。」
と聞きました。

教えてもらった所に行くと、ほしいノートが
「 」
見つかりました。

となりのコーナーに行ったら、えんぴつがありました。

お母さんに

「買っていい。」

と聞いたら、

「いいよ。」

「 」
と言われました。

さっそく、ぼくは、えんぴつを五本買いました。

新しいノートとえんぴつを買ってもらったので、算数の
勉強をがんばっていききたいと思います。

10 漢字を読む 5

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 太 陽 の 光

② 負 ける もん か

③ 始 め の 部 分

④ 短 い 言 葉

⑤ 終 わ り の 部 分

⑥ 心 配 す る

⑦ 酒 を 売 る

⑧ 赤 が 勝 つ

⑨ 町 に 住 む

⑩ 受 け と る 人

⑪ い っ し ょ に 送 る

⑫ 青 葉 区

⑬ 三 丁 目

⑭ 東 京 都

⑮ 宮 城 県

⑯ 市 町 村

⑰ 勝 負 が つ く

⑱ 式 の 開 始

⑲ 短 文 と 長 文

⑳ 終 電 車

10 漢字を書く5

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましょう。

- ① たいようの光

「」
- ② まけるもんか

「」
- ③ はじめの部分

「」
- ④ みじかい言葉

「」
- ⑤ おわりの部分

「」
- ⑥ しんぱいする

「」
- ⑦ さけを売る

「」
- ⑧ 赤がかつ

「」
- ⑨ 町にすむ

「」
- ⑩ うけとる人

「」
- ⑪ いっしょにおくる

「」
- ⑫ 青葉く

「」
- ⑬ 三ちょう目

「」
- ⑭ 東京と

「」
- ⑮ 宮城けん

「」
- ⑯ しちようそん

「」
- ⑰ しょうぶがつく

「」
- ⑱ 式のかいし

「」
- ⑲ たんぶんと長文

「」
- ⑳ しゅうでんしゃ

「」

11 漢字を読む6

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 寒 | い 風

② 箱 | に入 れる

③ 暗 | い み ぞ

④ 毛 | 皮 を 着る

⑤ 消 | 防 車

⑥ 荷 | 物 運 び

⑦ 炭 | 火 を 消す

⑧ 第 | 一 回

⑨ 地 図 を 拾 | う

⑩ 進 | ん で 行 く

⑪ 君 | た ち

⑫ 一 | 列 な ら び

⑬ 石 | 投 げ

⑭ 指 | し し め す

⑮ 寒 | 気 が 来 る

⑯ 詩 の 暗 | 記

⑰ 皮 | 肉 を 言 う

⑱ 火 を 消 | す

⑲ 石 | 炭 を ほ る

⑳ 車 の 進 | 入

11 漢字を書く6

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

① さむい風

② はこに入れる

③ くらいみぞ

④ けがわを着る

⑤ しょうぼうしゃ

⑥ にもつ運び

⑦ すみびを消す

⑧ だいいっかい

⑨ 地図をひろう

⑩ すすんで行く

⑪ きみたち

⑫ いちれつならび

⑬ 石なげ

⑭ さししめす

⑮ かんきが来る

⑯ 詩のあんき

⑰ ひにくを言う

⑱ 火をけす

⑲ せきたんをほる

⑳ 車のしんにゆう

12 こそあど言葉①

学 年	
組	
名 前	

① 次の文にあてはまる言葉を、あとの□の中からえらんで、記号を書きましよう。

① ずっと昔、（ ）は、海でした。

② （ ）川で、大きな魚をつりました。

③ （ ）が、有名な花です。

ア こ こ イ これ ウ この

② 次の文にあてはまる言葉を、あとの□の中からえらんで、記号を書きましよう。

① （ ）道を行くと、海に出ますか。

② （ ）から、ゆかのそうじを始めたらいいですか。

③ 名前がないので、（ ）があなたのノートなのか、分かりません。

④ （ ）でこんなにきれいな花を見つけたのですか。

⑤ お店で（ ）を買えばいいのか、まよってしまいます。

ア どれ イ どこ ウ どの

③ 次の文にあてはまる言葉を、あとの□の中からえらんで、記号を書きましよう。

① （ ）本は、きのう買ったものです。

② （ ）へ行くのに、バスで十分かかります。

③ （ ）がほしかった本です。

ア それ イ そこ ウ その

12 こそあど言葉②

学 年	
組	
名 前	

1 がさしている言葉
を書きましょう。

① 音楽室の前を通った。
そこから、歌が聞こえた。

② 水そうで魚が泳いで
いる。これは、ぼくが
つってきたものだ。

③ ろうかでえんぴつを
ひろった。これは、
れのものだろう。

④ 仙台駅にいった。そ
こからバスに乗った。

⑤ レストランへ行った。
そこで、おいしいごち
そうを食べた。

2 の言葉が、それぞ
れ何をさしているか答え
ましょう。

① 駅たての前に、大きな
建物があります。それ
が、市役所です。そこ
では、多くの人々がは
たらいています。

【それ】
() 駅 () 大きな
() 大きな建物

【そこ】
() 市役所 () 駅
() 人々

② 夏休みいしのまきに、石巻市へ
行ってたくさんのおい
しなものがあつた。そ
こには、魚やかまぼこ
などがある。魚やかま
ぼこは、石巻の名物だ
そう。

【そこ】
() 夏休み () 思い出
() 石巻市
【それら】
() いとこ () たくさん
() 魚やかまぼこなど

12 こそあど言葉③

学 年	
組	
名 前	

1 ()にあてはまる言葉を
□ からえらんで、記号で
書きましょう。

- ① ()が、あなたのくつ
ですか。
- ② ()で、この本を買っ
たのですか。
- ③ ()花がすきですか。
- ④ ()まで行ったら、休
むのですか。
- ⑤ ()へ行くにも、車が
べんりです。

ア どこ イ どれ
ウ どの

2 がさしている言葉を
えらんで、○をつけましょ
う。

① 気仙沼の港には船が
ならんでいる。この中
には、魚をとるための
船やお客さんに乗せる
ための船がある。

() 気仙沼 () 港
() 船

② ケーキ屋さんにお
いしそうなケーキがな
らんでいます。その中
から、ぼくはイチゴケ
ーキをえらびました。
それを、おみやげにし
て、大崎市に行きまし
た。そこには、ぼくの
おばあちゃんが、住ん
でいます。

【その1】

- () 店
() ケーキ
() おいしい

【それ】

- () おみやげ
() 店
() イチゴケーキ

【そこ】

- () おみやげ
() 大崎市
() おばあちゃん

12 こそあど言葉④

学 年	
組	
名 前	

① () にあてはまる言葉を
からえらんで文を作
りましょう。

ぼくは岩沼市に住んで
います。() は、仙台市
に近くて、とてもくらし
やすいです。

近くには、仙台空港が
あります。() 空港か
らは、たくさんの飛行機
がとび立っていきます。
() の飛行機は、国
内だけでなく、外国にも
行きます。外国からは、
お客様もやってきます。
中国などからの旅行者で
す。

また、岩沼市にある公
園はとてもきれいです。
() 公園にも美しい
花や木が植えられている
からです。

これ・どの・ここ
その・あの・それら

② 同じ言葉をくりかえさな
いように、() にあてはま
ることばを からえらん
で、文を作りかえましょう。

① 友達からプレゼント
をもらった。プレゼン
トは、ぼくが好きなお
もちゃだった。

← 友達からプレゼント
をもらった。() は、
ぼくが好きなおもちゃ
だった。

② 私は大崎市に住んで
いる。大崎市は米づく
りで有名である。

← 私は大崎市に住んで
いる。() は米づく
りで有名である。

どれ・それ・ここ・
どこ・その

13 漢字を読む 7

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 目の代わり

② 助ける犬

③ 待ての命令

④ 石で転ぶ

⑤ 他人

⑥ 心の家族

⑦ 広場の中央

⑧ 相談室

⑨ 店を開く

⑩ 手紙の返事

⑪ 長い期間

⑫ 研究ノート

⑬ 前の予そう

⑭ 野球人気

⑮ 来週の予定

⑯ 長い橋

⑰ 洋服を着る

⑱ 代表の人

⑲ 助走コース

⑳ 自転車

13 漢字を書く7

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましょう。

① 目のかわり
「」

② たすける犬
「」

③ まての命令
「」

④ 石でころぶ
「」

⑤ たにん
「」

⑥ 心のかぞく
「」

⑦ 広場のちゅうおう
「」

⑧ そうだんしつ
「」

⑨ 店をひらく
「」

⑩ 手紙のへんじ
「」

⑪ 長いきかん
「」

⑫ けんきゅうノート
「」

⑬ 前のようそう
「」

⑭ やきゅう人気
「」

⑮ 来週のよてい
「」

⑯ 長いはし
「」

⑰ ようふくを着る
「」

⑱ だいひょうの人
「」

⑲ じょそうコース
「」

⑳ じてんしゃ
「」

14 様子をくわしく表す言葉①

学 年	
組	
名 前	

① 「へ」に正しい形にか

えた言葉を書きましょう。

① 「暗い」

(例) 空が急に「暗く」なっ
た。

・ 空が「へ」ば、気持
ちも 重くなる。
・ きのうと同じような
「へ」空だ。
・ 今日、空が「へ」て
今にも雪がふりそうだ。

② 「きれい」

(例) この花は「きれいだ」。

・ へやを、「へ」かた
づけなさい。
・ とても「へ」花を
見た。
・ この花はとても「へ」、
心がなごむ。

③ 「走る」

(例) いっしょに校庭を「走
ろう」。

・ はやく「へ」ば、はや
くつく。
・ ろうかを、「へ」ないで
ください。
・ この校庭で、「へ」たい。

② の言葉の使い方が

正しい方に、○をつけまし
よう。

① 「へ」雨がふってきたの

で、「へ」雨がふってきたの

で、「へ」雨がふってきたの
で、いそいで家に帰る。

② 「へ」美しく花を見つけ

た。「へ」美しい花を見つけ

た。「へ」美しい花を見つけ

③ 「へ」けわしい山道を歩

いた。「へ」けわしい山道を歩

いた。「へ」けわしく山道を歩

③ 「へ」にあうことばを

「へ」からえらんで書きま
しょう。

① 小さなどんぐりが、

「へ」転がってきた。

② そよ風にふかれて、木の
葉が、「へ」落ちて
きた。

ごろごろ・ひらひら
ぶるぶる・ころころ

15 漢字を読む 8

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① えらい 地 主

② 植 えた木

③ お 祭 り

④ 全 部 平 らげる

⑤ 申 しわけない

⑥ 世 界 の民話

⑦ 学 級 文 庫

⑧ 平 等 な世界

⑨ 有 名 な話

⑩ 南 の 島

⑪ 昔 の日本

⑫ 川 の 岸

⑬ 月 を 取 る

⑭ 二 倍 三 倍

⑮ 虫 の 化 石

⑯ 主 人 公

⑰ 植 物 の花

⑱ 文 化 祭

⑲ 世 界 平 和

⑳ 等 しい長さ

15 漢字を書く8

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

① えらいじぬし「」

② うえた木「」

③ おまつり「」

④ 全部たいらげる「」

⑤ もうしわけない「」

⑥ せかいの民話「」

⑦ がっきゆうぶんこ「」

⑧ びょうどうな世界「」

⑨ ゆうめいな話「」

⑩ 南のしま「」

⑪ おかしの日本「」

⑫ 川のきし「」

⑬ 月をとる「」

⑭ にばいさんばい「」

⑮ 虫のかせき「」

⑯ しゅじんこう「」

⑰ しよくぶつの花「」

⑱ ぶんかさい「」

⑲ 世界へいわ「」

⑳ ひとしい長さ「」

16 読み取り

学 年

組

名 前

1 文章を読んで答えましょう。

①

二人でおいにごっこをしていた。ぼくが、広い道路に出たとたん、目の前で車がキキーと音を立てて止まった。

いっしゅん心ぞうが止まったような気がして、体中からあせがふきだした。

ぼくがおどろいたことが分かる表現を、二つ書きましょう。

「 「

。

「 「

②

ゆきえは、ささいなことで弟とけんかをしてしまった。二階の自分のへやにもどったゆきえは、ドアをいきおいよくボタンとしめた。ゆきえは、つくえの上をドンとたたいた。

弟とけんかをしておこっているゆきえの気持ちが分かる表現を、二つ書きましょう。

「 「

「 「

③

ピーッとふえがなった。あんなに練習してきたのに、一点さで、し合に負けてしまった。こうやは、思わずボールをたたきつけてしまった。その後、くちびるをかんた。

し合に負けてくやしいこうやの気持ちが分かる表現を、二つ書きましょう。

「 「

「 「

17 漢字を読む 9

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 神 社 の 祭 り

② 実 行 委 員

③ お 守 り

④ 福 の 神

⑤ 歌 の 作 曲

⑥ 音 楽 作 品

⑦ 大 き い 家 具

⑧ 農 業 を す る

⑨ 練 習 帳

⑩ 池 の 氷

⑪ 神 に い の る

⑫ う ま い 守 備

⑬ 留 守 の 家

⑭ 線 が 曲 が る

⑮ 黒 板 に 書 く

⑯ お い わ い の 品

⑰ 空 白 の 部 分

⑱ 近 い 農 家

⑲ 工 業 の 町

⑳ 流 氷 が 着 く

17 漢字を書く9

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

① じん じゃの祭り

② じっ こう いいん

③ おま もり

④ ふく の神

⑤ 歌の さつきよく

⑥ 音楽 さくひん

⑦ 大きい かぐ

⑧ のうぎようをする

⑨ れん しゅうちよう

⑩ 池の こおり

⑪ かみ にいのる

⑫ うまい しゅび

⑬ る すの家

⑭ 線が まがる

⑮ こくばんに書く

⑯ おい わいのしな

⑰ くうはくの部分

⑱ 近いのうか

⑲ こうぎようの町

⑳ りゅうひようが着く

18 漢字を読む 10

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 根 をはる

② 羊 や馬

③ 組み立て 式

④ おかに 登る

⑤ 横 にほる

⑥ 夏の 気 温

⑦ 海に 注ぐ

⑧ 飲 み水

⑨ お 湯 を注ぐ

⑩ 苦 手 な本

⑪ 感 想 文

⑫ 苦 い 薬

⑬ 反 対 意見

⑭ 悲 しい話

⑮ 根 気 がいる

⑯ 羊 毛 の服

⑰ 朝の 登 山

⑱ 横 断 歩 道

⑲ 温 かい 食事

⑳ 注 意 する人

18 漢字を書く10

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましょう。

① ねをはる

② ひつじや馬

③ 組み立てしき

④ おかにのぼる

⑤ よこにほる

⑥ 夏のきおん

⑦ 海にそそぐ

⑧ のみ水

⑨ おゆを注ぐ

⑩ にかてな本

⑪ かんそうぶん

⑫ 苦いくすり

⑬ はんたい意見

⑭ かなしい話

⑮ こんきがいる

⑯ ようもうの服

⑰ 朝のとぎん

⑱ おうだんはどう

⑲ あたたかい食事

⑳ ちゅういする人

19 作文 ①

学 年	
組	
名 前	

1 次の手紙を読んで答えましょう。

おじいさんの家で楽しい思い出がたくさんできました。本当に、ありがとうございました。

とくに楽しかったのは、魚つりです。あんなに大きな魚をつったのはじめてです。魚をつりあげた時の、「どしっ」とした手ごたえは、今もわすれることができません。

花火も楽しかったです。線こう花火がどれくらい長持ちするか、おじいさんときそいましたね。おじいさんの花火のほうが長く火がついていて、ぼくが負けてしまいました。とてもくやしかったです。

夏休みが終わって、学校が始まりました。二学期は、水泳や学げい会があります。とても楽しみです。勉強もがんばりたいと思います。

おじいさんも、秋になったら、ぼくの家に遊びに来てほしいです。来年の夏休みも、おじいさんの家に行きたいと思います。

八月二十六日

おじいさん

あべ こうや

① この手紙は、だれがだれに出したのですか。

だれが（
だれに（
）

② この手紙を書いたのはいつですか。

（
）

③ この手紙を出した目的は、何でしょうか。

（ ）おじいさんをしようたいする

（ ）学校の様子を教える
（ ）お礼

④ おじいさんの家でとくに思い出にのこったことを二つ書きましょう。

（ ）のこと
（ ）のこと

⑤ おじいさんに語りかけている文を書きぬきましょう。

19 作文 ②

学 年	
組	
名 前	

1 次の文を読んで答えましょう。

六月一日(月)

やっとひまわりがめを出しました。うれしくてたまりません。おとといの朝、ひまわりの種を植えたはちを見に行ったら、土が少しふくらんでいました。だから、そろそろ今日あたりはめを出すのではないかと、楽しみにして見に行ったのです。先生が、

「もう少し大きくなったら、今度は花だんに植えかえましょう。」

と言いました。ひまわりの大きな部屋への引っこしです。早く大きくなってほしいです。

七月二日(木)

葉とつぼみが出てきた。高さは五〇センチメートルぐらいです。くきはごつごつしています。葉っぱは、うちわのようです。夏にぴったりの黄色い花が早くさくように、いっぱいお世話をしていきたいです。

① 六月一日は、ひまわりがどうなったことに書いて、書いていますか。

② 七月二日は、ひまわりがどうなったことに書いて、書いていますか。

③ 「ひまわりの大きな部屋への引っこし」とは、どんなことをすることでしょう。

④ ひまわりの葉を何にたとえていますか。

⑤ 〳〵を引いた文の最後の部分をほかの文に合わせる形で書き直しましょう。

19 作文 ③

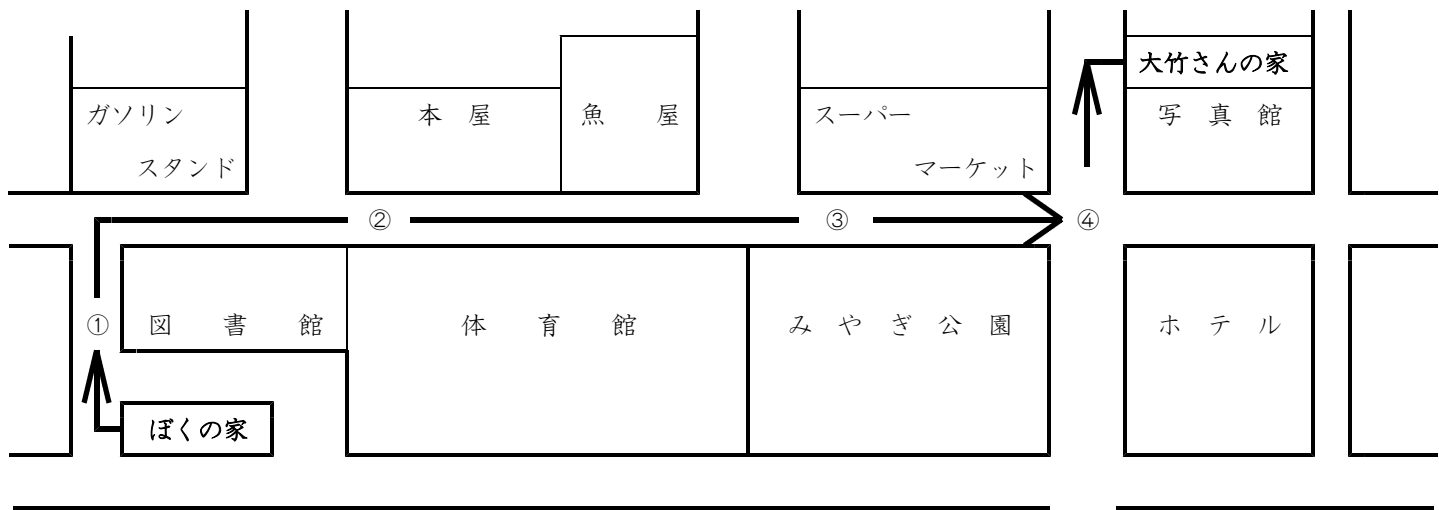
学 年	
組	
名 前	

1 絵を見ながら、（ ）の様子や気持ちに合う文を考え、遠足の作文を完成させましょう。
 (れい)

	家に帰って来ました。 (遠足が終わった時の気持ち)
	お昼になっておべんとうを食べました。 (おべんとうを食べている時の気持ち)
	大きなバスに乗って公園に向かいました。 公園に着いてから、みんなでダンスをおどりました。 (ダンスをしているときの気持ち)
	学校についたら、太陽が顔を出しました。 (太陽を見たときの気持ち)
	きのう、秋の遠足がありました。 遠足の日の朝は、雨が少しふっていました。 (雨を見たときの気持ち)

19 作文 ④

学年	
組	
名前	



1

ぼくの家から大竹さんの家まで、地図の太い線のように行きます。「」に当てはまることばを書きましょう。

①

家を出て、北に進むと正面に「」が見えます。東側には「図書館」があります。右に曲がり東に進みます。

②

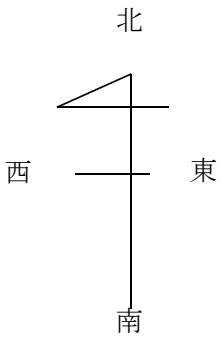
まもなく北側には「」が見えてきます。そのとなりは、「」です。

③

魚屋を過ぎると北側には「」、南側には「」があります。

④

さらに進んで、北側に写真館が見えたら、その交差点を左に曲がります。写真館の北側が、大竹さんの家です。



20 漢字を読む 11

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 銀 ぎ っ ね 「」

② 追 い ま くる 「」

③ お 礼 を 言 う 「」

④ 美 し い 声 「」

⑤ 急 に 曲 が る 「」

⑥ 坂 道 を 上 る 「」

⑦ 大 き な 湖 「」

⑧ 昼 の 放 送 「」

⑨ 行 く 手 「」

⑩ 車 の 追 せ き 「」

⑪ 学 校 美 化 「」

⑫ 大 急 ぎ 「」

⑬ 二 月 半 ば 「」

⑭ し か の 角 「」

⑮ び わ 湖 「」

⑯ 少 女 の 手 「」

⑰ 鳥 を 放 す 「」

⑱ 息 が 苦 し い 「」

⑲ 板 が 反 る 「」

⑳ 細 心 の 注 意 「」

20 漢字を書く11

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましょう。

① ぎんぎつね

② おいまくる

③ おれいを言う

④ うつくしい声

⑤ きゆうに曲がる

⑥ さかみちを上る

⑦ 大きなみずうみ

⑧ 昼のほうそう

⑨ ゆく手

⑩ 車のついでせき

⑪ 学校びか

⑫ だいそぎ

⑬ 二月なかば

⑭ しかのつの

⑮ びわこ

⑯ しょうじよの手

⑰ 鳥をはなす

⑱ 息がくるしい

⑲ 板がそる

⑳ さいしんの注意

1 下の表のひらがなのらんにローマ字の小文字を書きましょう。

大文字	A	I	U	E	O
	あ	い	う	え	お
K	か	き	く	け	こ
S	さ	し	す	せ	そ
T	た	ち	つ	て	と
N	な	に	ぬ	ね	の
H	は	ひ	ふ	へ	ほ
M	ま	み	む	め	も
Y	や	(い) ()	ゆ	(え) ()	よ
R	ら	り	る	れ	ろ
W	わ	(い) ()	(う) ()	(え) ()	を
N	ん				

学年	21 ローマ字1①	三年 ステップ1
組		
名前		

1 下の表のひらがなのらんにローマ字の小文字を書きましょう。

大文字	A	I	U	E	O
	あ	い	う	え	お
G	が	ぎ	ぐ	げ	ご
Z	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
D	だ	ぢ	づ	で	ど
B	ば	び	ぶ	べ	ぼ
P	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ

学年	21 ローマ字②
組	
名前	

三年
ステップ1

1 下の表のひらがなのらんにローマ字の小文字を書きましょう。

K	きゃ	きゅ	きょ
S	しゃ	しゅ	しょ
T	ちゃ	ちゅ	ちょ
N	にゃ	にゅ	にょ
H	ひゃ	ひゅ	ひょ
M	みゃ	みゅ	みょ
R	りゃ	りゅ	りょ
G	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
Z	じゃ	じゅ	じょ
D	ぢゃ	ぢゅ	ぢょ
B	びゃ	びゅ	びょ
P	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ

学年	21 ローマ字③
組	
名前	

三年
ステップ1

2 2

漢字のまとめ（読む）

①

学 年	
組	
名 前	

① 正しい読みがなに○をつけましょう。

② のかん字の読みがなを「」に書きましょう。

① 「」 整のえる

① ノートを配る。

「」 整える

「」 天気が心配だ。

② 「」 美しくい

② 「」 根がある。

「」 美しい

「」 根が生える。

③ 「」 美しい

③ 「」 暗記する。

「」 表わす

④ 「」 本を開く。

④ 「」 集まる

「」 戸を開ける。

「」 集まる

⑤ 「」 安心する。

「」 集る

「」 ねだんが安い。

2 2	
漢字のまとめ（読む）②	
学 年	
組	
名 前	

1 のかん字の読みがなを へ に
書きましょう。

① 息 が 切れる。

② 意 見を 発 表する。

③ ことばの 意 味を 調 べる。

④ 明 る い 太 陽。

⑤ きびしい 練 習。

⑥ 全 員 が プールで 泳 いだ。

⑦ 湖 に 氷 がはる。

⑧ 運 動 をする。

⑨ 薬 を 飲 む。

⑩ 速 く 走 る。

学 年	2 2 漢字のまとめ（読む）③
組	
名 前	

1 のかん字の読みがなを「 」にかきましよう。

① 野 球 の し あ い で 勝 負 を 決 め る。

② お 店 で 油 を 買 う。

③ お 酒 が 売 れ る。

④ 緑 色 の 葉 が 育 つ。

⑤ 電 柱 が 一 列 に な ら ん で い る。

⑥ 畑 に 豆 を 植 え る。

⑦ 大 き な 返 事 を す る。

⑧ 短 い 詩 を 読 む。

⑨ こ の 本 に 感 動 し た。

⑩ 童 話 の 中 で き つ ね が 人 に 化 け た。

2 2

漢字のまとめ（読む）④

学 年	
組	
名 前	

① 正しい読みがなに○をつけましょう。

① ㄱ ㄴ ㄷ

幸 あわせ

ㄱ ㄴ

幸 わせ

ㄱ ㄴ

幸 せ

②

ㄱ ㄴ

温 かい

ㄱ ㄴ

温 い

② の漢字の読みがなを

ㄱ ㄴ に書きましょう。

ㄱ ㄴ

① 前に進む。

② 外で遊ぶ。

ㄱ ㄴ

③ 手紙を送る。

ㄱ ㄴ

④ ボールを追う。

ㄱ ㄴ

⑤ 友だちを助ける。

ㄱ ㄴ

⑥ 校ていの遊具。

ㄱ ㄴ

⑦ ボールを投げて打つ。

ㄱ ㄴ

⑧ 服を着る。

ㄱ ㄴ

⑨ ごみを拾う。

ㄱ ㄴ

⑩ 羊を放す。

ㄱ ㄴ

2 2

漢字のまとめ（読む） ⑤

学 年	
組	
名 前	

① の漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① たてと横。 「」
横 断 歩 道。 「」

② つくえが重い。 「」

③ 本を重ねる。 「」

③ 急な用ができた。 「」
急いで歩く。 「」

④ 車に注意する。 「」

水をコップに注ぐ。 「」

⑤ たいへんな仕事。 「」
王様に仕える 「」

② 正しい漢字を○でかこみましょう。

① しゃしんをとる。 「具・真」

② 下 きゅう 生。 「級・細」

③ いた を 切る。 「坂・板」

④ だい 一 回。 「等・第」

⑤ くすり を のむ。 「薬・葉」

2 2

漢字のまとめ（読む）⑥

学 年	
組	
名 前	

1

の漢字の読みが
なを書きましよう。

「」

① 屋 上

「」

屋 根

「」

② 待 つ。

「」

期 待 する。

「」

③ りんごの皮。

「」

皮 肉 を言う。

「」

④ 水が流れる。

「」

かぜが流 行 する。

「」

⑤ 火を消す。

「」

消 ぼう 自動車。

2

正しい送りがなに○をつ
けましよう。

①

「」 コップを 落す。
「」 コップを 落とす。

②

「」 犬の死を悲む。
「」 犬の死を悲しむ。
「」 犬の死を悲なしむ。

③

「」 当番を代る。
「」 当番を代わる。

3

正しい漢字を○でかこみ
ましよう。

①

「」 重いに物を持つ。
「」 何・荷

②

「」 おいしいよう食を食べ
たい。
「」 洋・羊

③

「」 おずかしいもん題をと
く。
「」 門・問

④

「」 このかばんはかるい。
「」 軽・転

2 2

漢字のまとめ（読む）⑦

学 年

組

名 前

1

の漢字の読みが

なを書きました。

〔 〕

① 悲しいできごと。

〔 〕

悲鳴をあげる

〔 〕

② 実になる。

〔 〕

いねが実る。

〔 〕

実行する。

〔 〕

③ 息が苦しい。

〔 〕

苦い薬。

〔 〕

苦ろうする。

〔 〕

④ し合に負ける。

〔 〕

勝負する。

〔 〕

せきにんを負う。

2

正しい送りがなに○をつ

けましょう。

① 〔 〕 心が温たまる。

〔 〕 心が温まる。

〔 〕 心が温る。

② 〔 〕 気持ちが表る。

〔 〕 気持ちが表れる。

〔 〕 気持ちが表われる。

③ 〔 〕 平らな道。

〔 〕 平な道。

③ 正しい漢字を○でかこみ

ましょう。

① 王様につかえる。

〔 仕・使 〕

② かがみで 全しんを見る。

〔 心・進・身 〕

③ 先生に そう談する。

〔 相・想 〕

④ 楽しいことを期たいする。

〔 対・待 〕

2 2 漢字のまとめ（読む）⑧

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 運 命 。

② 水 泳 。

③ 中 央 の 出 口 。

④ 横 転 する。

⑤ 主 な 登 場 人 物 。

⑥ 世 界 。

⑦ 起 立 する。

⑧ 家 路 を 急 ぐ 。

⑨ 九 州 地 方 。

⑩ 庭 で 遊 ぶ 。

⑪ こ な を 練 る 。

⑫ 都 合 が 悪 い 。

⑬ き つ ね が 人 を 化 か す 。

⑭ は り 金 を 曲 げ る 。

⑮ 落 書 き する 。

⑯ 旅 行 する 。

⑰ 平 和 な 世 の 中 。

⑱ 新 聞 を 配 る 。

⑲ 皿 を 洗 う 。

⑳ 黒 板 を 指 す 。

2 2 漢字のまとめ（読む）⑨

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましょう。

① 角 度 が 等 し い。
「」

② 回 転 を 速 め る。
「」

③ わ た し の 住 所。
「」

④ 事 業 の せ つ 明。
「」

⑤ 新 か ん 線 の 乗 客。
「」

⑥ 飲 食 店。
「」

⑦ 委 員 を 引 き う け る。
「」

⑧ 家 の 柱。
「」

⑨ 歩 道 橋 を わ た る。
「」

⑩ 中 止 を 決 定 す る。
「」

⑪ 商 店 で 買 い 物 を す る。
「」

⑫ 筆 で 書 く。
「」

⑬ ピ ア ノ を 習 う。
「」

⑭ 店 の ご 主 人。
「」

⑮ り ん ご が 落 ち る。
「」

⑯ 宮 城 県 で 育 つ。
みやぎ

⑰ 寒 い 冬。
「」

⑱ ク ラ ス の 代 表。
「」

⑲ 薬 品 を 飲 む。
「」

⑳ 都 に 向 か う。
「」

22

漢字のまとめ（書く）①

学 年	
組	
名 前	

① へ にかん字を書きました。

みどり は そだ

① へ の へ が へ っ。

ぜん いん れん しゅう

② へ で へ する。

は こ も

③ へ を へ っ。

かん じ の へ い み し ら

④ へ の へ を へ べる。

うつく みやこ

⑤ へ しい へ 。

み ととの

⑥ へ だしなみを へ える。

はい しょく

⑦ ポスターの へ をくふうする。

まっ かん どう

⑧ お へ りに へ した。

ふ か みずうみ

⑨ へ い へ 。

は な そ だ

⑩ へ を へ てる。

22

漢字のまとめ（書く）②

学 年	
組	
名 前	

1

へ ー にかん字を書きましょう。

①

へ ー ー 物を ー ー か ー ー う。

②

へ ー ぶん しょう もん だい ー を とく。

③

へ ー まめ ー の ふくろを ー ー はこ ー ぶ。

④

し っ ぽ が へ ー み じ か ー い へ ー どう ぶ つ ー 。

⑤

へ ー も の が た り ー や へ ー し ー 。

⑥

へ ー き ん ー と へ ー ぎ ん ー 。

⑦

へ ー が っ こ う ー に へ ー あ っ ー ま ろ う 。

⑧

へ ー じ ゅ う し ょ ー を へ ー か ー ー く 。

⑨

へ ー や っ き ゃ く ー に へ ー い ー ー く 。

⑩

へ ー し ゅ っ ぱ っ ー する 日 を へ ー き ー ー め た 。

22

漢字のまとめ（書く）③

学 年	
組	
名 前	

① へ に漢字を書きましょう。

ふ ね ゆ は こ

① へ ー で 石 へ ー を へ ー ぶ。

こ お り み ず の

② へ ー を へ ー む。

か ま

③ へ ー ち と へ ー け。

ゆ お ん ど

④ お へ ー の へ ー 。

な

⑤ ボールを へ ー げる。

う

⑥ ボールを へ ー つ。

ひ ろ

⑦ ボールを へ ー う。

あ そ

⑧ ボールで へ ー ぶ。

こ ろ

⑨ ボールが へ ー がる。

お

⑩ ボールを へ ー う。

22

漢字のまとめ（書く）④

学 年	
組	
名 前	

① へ に漢字を書きましょう。

おかし よ なか

① へ の の の 。

なみ

② へ ー うちぎわで貝をひろう。

まえ すす

③ へ に へ む。

つぎ うま の

④ へ 々 と へ に へ る。

きよ ねん か ぐ

⑤ へ 買った へ 。

む

⑥ はずかしくて 下を へ く。

りよ こう しゃ しん

⑦ へ に行つて へ をとる。

ちゅう い

⑧ へ する。

すい ぞく かん い

⑨ へ に へ く。

きん こ

⑩ お金を へ にしまう。

22

漢字のまとめ（書く）⑤

学 年	
組	
名 前	

① へ ー に漢字を書きましょう。

え き ま

① へ ー で へ ー つ。

な つ や す け ん き ゆ う

② へ ー み の へ ー 。

れ い し な

③ お へ ー の へ ー 。

は ん た い

④ へ ー する。

こ う ふ く

⑤ へ ー な 人。

も ん だ い

⑥ お ず か し い へ ー 。

こ ろ ち

⑦ へ ー ー なら へ ー ー が 出 た の で 、 お へ ー ー

さ ん に み て も ら っ た 。

は な た か

⑧ へ ー が へ ー ー い。

ま さ か み ち

⑨ へ ー が っ た へ ー ー 。

ば び ょ う い ん

⑩ む し へ ー が い た く て へ ー ー に 行 く 。

⑥

名前

〔に漢字を書きましょう。〕

しま

みなと

な
にある

だ
い
い
ち

位いになる。

た

大勢 ○
お
お
ぜ
い

け

す。すを。

とう

に分ける。

は
じ

か
まる。

は
し






に
も
つ

なが

の音が

かな

しむ。
を
の
を
しむ。

22

漢字のまとめ（書く）⑦

学 年	
組	
名 前	

1 「」に漢字を書きましょう。

① 「」が「」の「」。

「」たんき

② 「」な人。

れんしゅうちょう

③ 「」に書く。

とうきゅう

④ ピッチャーが「」する。

かんけい

⑤ 親子の関「」。

でんぱうご

⑥ 「」で「」く時計。

ほうめん

⑦ 仙台「」に行く。

きしゃしゅざい

⑧ 新聞「」が「」材する。

おくじょう

⑨ 学校の「」に上がる。

すみび

⑩ 「」をおこしてバーベキューをする。

学 年	22 漢字のまとめ（書く）⑧
組	
名 前	

① 読み方は同じですが、ちがう漢字です。〔 〕に漢字を書きましょう。

- | | | | | | | | | | |
|-----------------|------------------|------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------------------------|-----------------|-----------------|----------------|
| ① 夜が〔 〕ける。
あ | ② まどを〔 〕ける。
あ | ③ 友だちを〔 〕う。
お | ④ せきにんを〔 〕う。
お | ⑤ 服を〔 〕る。
き | ⑥ 紙を〔 〕る。
き | ⑦ 英語 ^{えいご} を〔 〕す。
はな | ⑧ 鳥を〔 〕す。
はや | ⑨ 気が〔 〕い。
はや | ⑩ 足が〔 〕い。
は |
|-----------------|------------------|------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------------------------|-----------------|-----------------|----------------|